

*本資料は令和2年度文化庁メディア芸術アーカイブ推進支援事業の助成を受け作成した

*調査は継続中であり、本リストは暫定版です

2021年3月現在 [暫定版]

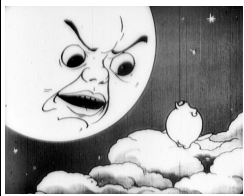
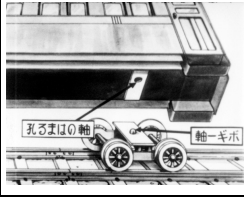


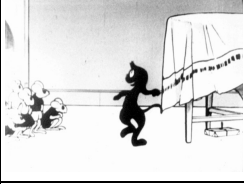
登録題名	製作会社	監督	製作年	調査の判明事項
1 カテイ石鯨 		北山清太郎？	1922年頃	中山太陽堂（現・クラブコスメチックス）の宣伝広告映画。北山清太郎作の可能性あり。
2 教育お伽漫画 兎と亀 	北山映画製作所、 ナカジマ活動写真部	山本早苗	1924	1923年9月の関東大震災で北山映画製作所オーナーの北山清太郎の家屋や制作スタジオを損壊。北山は一家で関西へ。残された山本は北山映画製作所を引き継ぐが、制作スタジオがどこか不詳。ナカジマ活動写真部は神戸なので、山本が神戸へ来て制作したことも考えられる。
3 のろまな爺 		大藤信郎	1924	大藤信郎の試作第一作。幸内純一のスミカズ映画創作社で制作。
4 塩原多助（改題「勤儉貯蓄 塩原多助」）	朝日キネマ（鈴木映画）	木村白山	1925 (1941)	1925年『塩原多助』2巻（サイレント）公開後、1927年に一部をカットし22分の『新・塩原多助』を中外活動写真協会が公開。トーキー時代に入り、奥田商会が岩谷サウンドシステムを採用、弁士・松井美明の解説で1巻11分に短縮して活弁トーキー版『勤儉貯蓄 塩原多助』を制作。現在のフィルムは3度目の改訂版である。
5 ノンキナトウサン竜宮参り（改題「夢の浦島」）	朝日キネマ（鈴木映画）	木村白山	1925 (1942)	トーキー再販。解説：牧野周一。原作漫画は麻生豊。サイレントのオリジナル版は1925年『ノンキナトウサン竜宮参り』。トーキー時代に入り1942年『夢の浦島』（9分）と改題され公開された。この作品は『塩原多助』と2本立てで20分となる。
6 切紙細工 西遊記 孫悟空物語 	自由映画研究所	大藤信郎	1925	初公開時の資料では3巻となっている。操手：大藤一江。公開年月日：1925年10月29日（新宿武蔵野館）
7 正チャンの冒険 	東京線画フィルム製作所？	金井木一路？	1923～ 1925（大正年間）	「正チャンの冒険」は樺島勝一が1923年1月から「アサヒグラフ」に連載した子供向きの漫画で大人気になった。2年6カ月の長期連載でアニメ化された。北山清太郎門下の金井木一路（本名・喜一郎）が正チャンシリーズを制作したので、金井作品かもしれない。
8 漫画 山崎街道	三菅谷映画製作所	木村白山	1926	原作漫画は麻生豊「ノンキナトウサン」

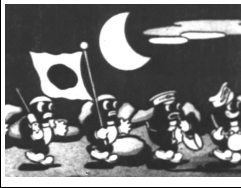
9	チャップリンとクーガン (仮題) 			1920年代	大人向けアニメだが製作会社もアニメ作家も不詳。映画会社が登場するが、出演俳優や監督などのキャラクターは多分、当時の著名スター、監督のカリカチュアと思われる。字幕で『母校の為に』（日活、阿部豊、1925年）のことや、ジャッキー・クーガン風の子供を案内する年配の俳優が山本嘉一に似ていること、『母校の為に』の主演俳優・浅岡信夫に似ているキャラクターも出ていることから（共演者は岡田嘉子でそれらしく見えるキャラクターもいる）、日活で作られたアニメかも知れない。『チャップリンとクーガン』は東京国立近代美術館フィルムセンターの「発掘された映画たち2010」上映時に付された仮題である。
10	千代紙細工 みかん船 	大藤信郎プロダクション	大藤信郎	1927	オリジナル版は3巻で、文左衛門が途中の島で村人たちがこま犬の怪物に村を荒らされていることを聞き、退治するエピソードがあったが、その場面をカットし、1930年『こま犬の眼』の題で公開。背景：大藤智江。切り抜き：大藤一江。公開年月日：1927年2月11日（新宿武蔵野館）
11	蛸の骨 	横浜シネマ商会	村田安司	1927	
12	花咲翁 	横浜シネマ商会	村田安司	1928	
13	文福茶釜 	横浜シネマ商会	村田安司	1928	
14	まんが 茂林寺の釜 (文福茶釜 トーキー版)	横浜シネマ商会	村田安司	1928	上記『文福茶釜』のトーキー版。メインタイトル、クレジット欠。エンドタイトル「完」は別タイトルか。CCD認可番号：M11790。トーキー版の製作がいつかは要調査。
15	動物オリムピック大会 	横浜シネマ商会	村田安司	1928	
16	御国の為に (「日の丸は輝く」)	サクラグラフ	木村白山	1928	
17	日の丸は輝く 突撃	白山漫画	木村白山	1928	玩具フィルム

18	お伽噺 日本一桃太郎 	タカマサ映画社	山本早苗	1928	
19	カチカチ山 	幹彦映画研究所?		1928?	不詳。1928年の幹彦映画研究所の作品かもしれない。トーキー版の製作がいつかは要調査。
20	蛙は蛙	横浜シネマ商会	村田安司	1929	
21	太郎さんの汽車 	横浜シネマ商会	村田安司	1929	オリジナル版は巻頭とラストに実写映像が入る。巻頭は会社帰りの父親が玩具店で買ってきたレール付きの汽車を抱いて少年が眠りにつく。夢でアニメの場面。アニメが終わり、実写で朝を迎える場面あり。
22	瘤取り 	横浜シネマ商会	村田安司	1929	夜間シーンをシルエットで表現したのが評価された。
23	黒ニャゴ 	千代紙映画社	大藤信郎	1929	児童唱歌映画。大藤信郎のレコードトーキー第一作。ビクターレコード「黒ニャゴ」50821に同期。作曲：佐々紅華、作詞：時雨音羽、歌：平井英子。
24	忍術チビ助		木村白山	1929	玩具フィルム
25	頓智奇珍 漫遊記 團子串助 漫遊記 		宮下万蔵	1929	原作漫画：宮尾しげを 画：宮下万蔵 番号：T.35 レコード 團子串助漫遊記 ポリドールレコード899-Aに同期。
26	日本マンガ 太郎さんの冒険撮影	タカマサ映画社	相原隆昌、山本早苗	1929	
27	スクリーンミュージック 国歌 君が代 	横浜シネマ商会	村田安司	1930	1929年8月29日に公開された米アニメ『蛍の光』“Ye Olden Melodies”（マックス・フライシャー制作のスクリーン・ソング・シリーズ）で五線譜の上を白い玉が音階をたどって動く。これを真似して製作し「スクリーンミュージック」とPRした。

28	おいらのスキー 	横浜シネマ商会	村田安司	1930	
29	おい等の野球 	横浜シネマ商会	村田安司	1930	
30	電信・電鈴・電話 	横浜シネマ商会	村田安司	1931	国立映画アーカイブの「日本アニメーション映画クラシックス」に上がっているもの（プラネット映画資料図書館所蔵16mmポジ）とタイトルのクレジットなどが異なる版あり。
31	お関所 	千代紙映画社	大藤信郎	1930	
32	煙突屋ペロー 	京都童映社	田中喜次	1930/1987	戦前のプロキノ（プロレタリア映画同盟）の委託で制作した作品。しかし、官憲の弾圧で作品はカットされたが、1987年10月に欠落していたラスト1/3を影絵風にリメイクして公開。アニメ制作はグループタック。当時のスタッフが監修。 オリジナル=1930年2月完成。公開年月日：1930年5月31日（東京・読売講堂）
33	村祭 	千代紙映画社	大藤信郎	1930	ビクターレコード51120-Aの文部省唱歌「村祭」（唄：平井英子）に同期。スクリーン動画に歌詞が出る。これはフラッシャーのスクリーン・ソング・シリーズを真似たもの。
34	漫画 ちよん切れ蛇 	スミカズ映画創作社	幸内純一	1930	
35	猿正宗 	横浜シネマ商会	村田安司	1930	

36	レヴェー春 	横浜シネマ商会	村田安司	1931	1931年6月発売
37	空の桃太郎 	横浜シネマ商会	村田安司	1931	
38	國歌 君が代 	千代紙映画社	大藤信郎	1931	コロムビアレコード A-18 (32999) に同期。
39	春の唄 	千代紙映画社	大藤信郎	1931	大阪松竹歌劇団の「春のおどり」のテーマソング「春の唄」のアニメ化。テーマソングの作詞は岸本水府、作曲は松本四良。コロムビアレコード「春の唄」25819-Aに同期。
40	鼠の留守番 	大石光彩映画社	大石郁雄	1931	配給：伴野文三郎商店。歌手は平井英子。番号：T.8 ビクターレコード 60855-Bに同期。
41	漫画 あめやたぬき	十字屋小型映画部	宮下万蔵	1931	マーヴェルグラフ。『漫画 あめやたぬき』と『漫画 トーキー あめや狸』の二本一組。ビクターレコード 50715-A・Bに同期。
42	児童物語 サルカニ合戦 第一巻	十字屋小型映画部	宮下万蔵	1931	マーヴェルグラフ。オリエントレコード-60345-A・Bに同期。
43	おもちゃの汽車	伴野商店	西倉喜代次	1931	番号：T.28 ビクターレコード 51582-Bに同期。
44	あっぱれ安さん 		大石郁雄	1931	題名不明。「日本アニメーション映画史」206頁の『あっぱれ安さん』（1931年、大石郁雄）と判断。
45	童話 浦島太郎	伴野文三郎商店	宮下万蔵	1931	番号：T.13 ニットーレコード 3961-A・Bに同期。
46	茶目子の日	協力映画社	西倉喜代治	1931	ビクターレコード50681-A・B面に同期。歌は平井英子独唱。作詞作曲：佐々紅華、台詞：高井ルビーでオペレッタ調のアニメ。
47	ヤジキタ 	伴野商店		1931	ビクターレコード 51887-Aに同期。

48	漫画 お伽のお爺さん 	朝日	村田安司	1931	玩具フィルム。村田安司『タヌ吉のお話』1931から。
49	海の桃太郎	横浜シネマ商会	村田安司	1932	
50	猿吉と豚平 猿吉は勝った 	横浜シネマ商会	村田安司	1932	16ミリ版は題名が『猿吉は勝った』、35ミリ版は『猿吉と豚平』。
51	体育デー 	横浜シネマ商会	村田安司	1932	
52	あひるの子	横浜シネマ商会	脚色：青地忠三 作画：村田安司	1932	
53	汽車の発達 	横浜シネマ商会	村田安司	1932	1932年当時の尋常小学校読本巻九「汽車の発達」を実写と図解アニメで制作したもの。指導：全日本活映教育研究会。
54	漫画 大当り空の円タク 	協力映画社	西倉喜代治	1932	協力映画製作社第七回作品。
55	山小屋のタベ 	大石光彩映画社	大石郁雄	1932	配給：伴野文三郎商店。太陽レコード 2106-Bに同期。
56	文福茶釜 	伴野文三郎商店	大石郁	1932	ニッソー・レコード 3918-A・Bに同期。
57	ニヤゴダンス 	横浜シネマ商会	村田安司	1932	サクラグラフ。レコードトーキー。

58	ヴォルガの船唄 扇光楽 	OSAKA MORI BABY-CINEMA	森紅	1932	缶の裏に「映写の仕方」解説あり。音の同期について記載があり、もとはレコードトーキーとして作られた。
59	いたづら狸 		村田安司	1933	不詳。『紙芝居 いたづら狸の巻』と同一作品か。
60	のらくろ二等兵 教練の巻 	横浜シネマ商会	村田安司	1933	原作漫画：田河水泡。教練の巻と演習の巻の二本立て。分けて販売もされている。
61	三公と蛸 	横浜シネマ商会	村田安司	1933	委託：通信省簡易保険局。缶表には「タコと三平」。
62	お猿の大漁 	横浜シネマ商会	村田安司	1933	村田安司のトーキー第一作。音楽演奏はコロンビア・オーケストラで村田良造の指揮。47年の続編の『続く大漁』が日本映画社で制作されている。
63	漫画 海底の暴君 	横浜シネマ商会	村田安司	1933	『お猿の大漁』の玩具フィルム。
64	ホームラン 	横浜シネマ商会	村田安司	1933	
65	日本漫画 ギャングの最後 	政岡映画製作所	政岡憲三	1933	玩具フィルム。『ギャングと踊り子』のラスト部分。
66	蛙三勇士 	千代紙映画社	大藤信郎	1933	「8ミリ文化映画普及會」のシール、「マツダ発声映画研究所（銀座）」のクレジットあり。
67	特急艦隊 	J・Oトーキー漫画部	中野孝夫、田中喜次、舟木俊一、永久博郎	1933	オモチャ箱シリーズ 第1作。タイトルが出ないので当初はJ.O.トーキーの「オモチャ箱」シリーズ第2作の『黒猫万歳』と思われていたが、第1作の『特急艦隊』と同定された。「日本アニメーション映画史」211頁の図版も『特急艦隊』の誤り。公開年月日：1934年4月22日（新世界日本倶楽部衛生劇場）、1934年6月15日（京都松竹座）
68	発声漫画 かへる剣法 		芦田巖	1933	玩具フィルム
69	狐と狸の化かし合い 狐狸達引動絵（サイレント版） 	P.C.L漫画部	作画：大石郁雄、他	1933	フライシャー的なナンセンス・ギャグ・アニメの秀作。公開年月日：1933年12月31日（東京・邦楽座）

70	狐狸伊達引 (P.C.L.録音版) 	P.C.L.映画製作所	大石郁雄	1933	このバージョンは画が鮮明だが、トリミング位置が偏っている(足下が切れ気味)。『狐狸伊達引』は日本短編映画社扱い。
71	動絵狐狸達引 (西川発声版) 	P.C.L.漫画部	作画：大石郁雄、他	1933	このバージョンは戦後公開の西川発声版。サクラグラフ配給。
72	旋律 		森紅	1933	缶の裏に「映写の仕方」解説あり。レコードトーカー。
73	無敵凹平の海賊退治 	レフシー		1933	紙フィルム。昭和8年8月1日印刷、8月8日発行。番号：1424
74	たから箱 TREASURES CASE 	レフシー		1933	紙フィルム。昭和8年8月1日印刷、8月8日発行。番号：1512
75	からすとみみづく CROW AND HORNED OWL 	レフシー		1933	紙フィルム。昭和8年8月1日印刷、8月8日発行。杉本五郎記述『映画をあつめて』に熊川正雄とあるが、本人否定。
76	のらくる肉弾戦 	レフシー		1933	紙フィルム。昭和8年10月1日印刷、10月7日発行。番号：1412
77	漫画 七匹の小羊 	レフシー		1934	紙フィルム。昭和9年1月8日印刷、1月12日発行。番号：1418
78	泳げや泳げ 		大石郁雄	1934以前	レフシー版 (番号：1429) のタイトルは『泳げやつは者』(強者)。1934年にレフシーで販売しているのもそれ以前の作品。

79	のらくろ伍長 	横浜シネマ商会	村田安司	1934	原作：田河水泡
80	のらくろ二等兵（森紅作品） 		森紅	1930代	のらくろ（フェリックス？）の人形を使ったコマ撮り。
81	月の宮の王女様（サイレント版） 	横浜シネマ商会	村田安司	1934	切り紙アニメの名手だった村田安司の最高傑作と言われ、セルアニメに匹敵した作品だが、音声は欠落。
82	月の宮の王女様（コロンビア・オーケストラ版）	横浜シネマ商会	村田安司	1934	音楽は杉田良造の編曲及び指揮でコロンビア・オーケストラが演奏。伊藤久男と村山雪子が唄った。解説は関谷五十二。
83	新版 月の宮の王女様（西川発声版）	横浜シネマ商会	村田安司	1934	音楽：三木鶏郎とそのグループ 唄：神田千鶴子 オリジナルもトーキー版とサイレント版が存在したものと思われ、戦後の新版もトーキー版を再録音した版（今回の版）とサイレント版に音を付けたものがある。
84	紙芝居 金太郎の巻（『漫画金太郎』の改編版？） 	横浜シネマ商会	村田安司	1934？	この作品はサクラグラフ版『漫画 紙芝居 金太郎の巻』（1934年）と同じものだが、途中で「漫画 金太郎 終」のタイトルがあることから、『漫画 紙芝居 いたづら狸の巻』（1933年）が『文福茶釜』（1928年）の改編版であると同様に、もとの『漫画 金太郎』の改編版かも知れない。ただ『漫画 金太郎』の製作年などは調査が必要。
85	おい等の生命線	横浜シネマ商会	片岡芳太郎	1934	脚色：笹本喜太郎。『おい等の生命線』の作者は片岡芳太郎。村田安司が自筆作品リストに書いてしまっているので誤解を生んだ。サクラグラフ版『漫画 おい等の生命線』（200feet）のタイトルで確認。
86	漫画、動物の運動会 水泳跳込 白熊 河馬	横浜シネマ商会	村田安司	1934	1934年の『体育デー』の再版。
87	漫画 鼠と獅子	横浜シネマ商会	片岡芳太郎	1934	サクラグラフ。
88	元禄恋模様 三吉とおさよ	日本マンガフィルム研究所	瀬尾光世	1934	
89	茶釜音頭	政岡映画美術研究所	政岡憲三	1934	東京・時事新報社が募集した映画脚本の漫画の部で1等賞当選作をアニメ化したもの。公開は1935年。作画：熊川正雄、桑田良太郎、川島正義
90	森の野球団	政岡映画美術研究所	原田誠一	1934	オリジナル版は試合途中のベース上で狐と狸が化かし合いをやる。この場面が助長だったのか、この場面をカットして『森の野球団 姉妹篇 狸と狐の化け試合』の題名で9.5ミリ版が発表された。作画：熊川正雄、桑田良太郎、川島正義

91	ポン助の春 	P・C・L漫画部	大石郁雄	1934	
92	ワニザメ ト シロウサギ 	オールキネマ社	大石郁雄	1934	玩具フィルム版(ライオン)もある。
93	ガランドウの太鼓 	SAKAMOTO PRODUCTION	坂本為之	1934	
94	海の水はなぜからい 	横浜シネマ商会	村田安司	1935	戦後サウンド版。巻末に実写の海が新しく?入っている。
95	漫画 證城寺の狸囃子 塙團右衛門 	日本マンガフィルム研究所	片岡芳太郎	1935	原作、脚色：魔須田和光(和弘ではない) 作画、監督：片岡芳太郎(作画監督ではなく、作画と監督と思われる) 録音：NRT 日本ラヂオトーキー製作所 作曲、指揮：西垣鉄雄 ラベルには「塙團右衛門・化物退治」とあり。オリジナルはサイレント版で『塙團右衛門化物退治の巻』の題名で公開。1939年トーキー版で題名も改題しリメイクされた。
96	ターチャンの海底旅行 	政岡映画美術研究所	政岡憲三	1935	作画：熊川正雄、桑田良太郎、川島正義、竹内幸人
97	忍術 火の玉小僧 江戸の巻 	日活京都撮影所漫画部	田中与志	1935	玩具フィルム。田中与志は田中喜次。
98	新版 居酒屋の一夜 	横浜シネマ商会	村田安司	1936?	1930年5月キネマ旬報創刊15周年に公募した「トーキー漫画ストーリー」の当選第1作を横浜シネマで制作。村田安司はこの作品を最後に横浜シネマを退社し、独立プロを設立。戦後のトーキー版だが音声欠落。"新版"は戦後のトーキー版でサクラグラフ配給。
99	ちんころ平玉手箱 	千代田映画社	大藤信郎	1936	"ちんころへいべい"とルビをふってある広告があった。
100	日の丸太郎 おばけ退治 	三幸商会漫画部	鈴木宏昌	1936	別題で『古寺のお化け騒動』もあり(W8版、日本短編映画社扱い)。
101	鉤を失くした山彦 		竹村猛児	1936	全日本パテーシネ協会主催第3回各支部連合9ミリ半映画作品協議会 3等3席
102	五匹の力(森の五匹の動物たち) 	芦田漫画製作所	鈴木宏昌	1937	
103	白鼠物語り 	三幸商会發聲漫画研究所	鈴木宏昌	1937	録音：コーノ・トーン録音研究所 日本お伽教育漫画集 第壹篇 白鼠物語り 鈴木宏昌作品 製作：三幸商会發聲漫画研究所 作画と撮影：鈴木宏昌、暮田博匡、松本衆司、福田里三郎

104	鼠と獅子 チュウ助の報恩	三幸発声漫画映画研究所	鈴木宏昌	1937	世界教育お伽漫画シリーズ第三輯
105	だんごの行方 	千代紙映画社	大藤信郎	1937	
106	海国太郎 新日本島万歳	三幸商會漫画部	鈴木宏昌	1937	作画：鈴木宏昌、暮田博匡、松本衆司、福田里三郎 公開年月日：1937年10月7日（京極劇場）
107	マー坊の木下藤吉郎	佐藤線画製作所	佐藤吟次郎 (?)	1938	
108	旅の一寸法師		竹村猛児	1938	パテーシネ1938.10に記載。竹村は現・東京港区青山の小児科医。
109	蜘蛛と頼光	T.K.S	竹村猛児	1938	缶ラベルNO.23とあり。内務省検閲印あり。TOPにクレジット「Australian Amatur Cine Society 1940 International Ten Best Competicion AWASRDED HONOUR PRIZE」とある。
110	べんけい対ウシワカ	日本映画科学研究所	政岡憲三	1939	公開年月日：1938年12月15日（松竹系）
111	海の荒鷲 	千代紙映画社	大藤信郎	1939	スターリンや蒋介石夫婦、矢野機など、内容から判断して『海の荒鷲』（1939年、大藤信郎）と推定。
112	漫画 ピョン太郎従軍 			1939	EK作画（あるいはKE作画）の文字あり。映画保存協会小型映画部編「戦前小型映画集」（2010年2月）の「伴野商店9.5ミリ映画目録」（29頁）に特大缶映画（1巻約90m）、品番S-28に『ピョン太郎の従軍』（1巻）あり。
113	のらくる軍曹 空襲の巻 			1939頃	玩具フィルム。1939年8月11日内務省検閲。
114	カンガルーの誕生日	日本映画科学研究所	熊川正雄	1940	アメリカナイズされた作品。
115	金太郎の体育日記	宏昌漫画映画制作所	鈴木宏昌	1940	
116	動物協同組合（動物となり組）	日本映画科学研究所	熊川正雄	1941	戦中の『動物となり組』が戦後に新版として『動物共同組合(トナリクミ)』と改題されたもの。台詞(一部?)なども戦後に合せて再録音されたと考えられ、闇物資のことなどに触られている。CCD認証番号：A-780。
117	漫画紙芝居 金太郎	日本映画科学研究所	桑田良太郎	1941	
118	マー坊の大サーカス（マー坊の大陸宣撫隊 前篇 サーカスの巻／後篇 匪賊退治の巻）	佐藤映画製作所	千葉洋路	1941	元気なマー坊の名の少年が活躍するシリーズ・アニメ。公開年月日：1942年3月26日（新宿朝日劇場）。『日本アニメーション映画史』225頁にある『マー坊の大陸宣撫隊』の「前篇 サーカスの巻」と「後篇 匪賊退治の巻」をまとめたもの。おそらく戦後版。

119	マンガ 空中凸凹拳闘	国光教育映画社	作画：吉田晴夫 橋本蔵六	1941	作画操作：吉田晴夫 作画撮影：橋本蔵六 録音：岩谷サウンドシステム お話：牧野周一とお伽會。「日本アニメーション映画史」225頁の『空の勇者』と同一。原題の『空の王者』の他に『兎の戦争』の改題もある。『空中凸凹拳闘』は三度目の改題かも。
120	三吉シリーズ 僕等の海兵團	日本マンガフィルム研究所	片岡芳太郎	1941	企畫、編輯：高橋幸次郎 作画、撮影：片岡芳太郎 作画助手：巖光司郎、山本作次郎 作曲編曲：西垣鉄雄 録音 岩谷サウンド電気研究所 題名はお猿三吉だが動物の猿ではなく、人間の猿野三吉が日本海軍の水兵役のキャラクターを演ずる。ミッキーマウスによく似たいたずら鼠が登場する。
121	チュウ児の羽衣（サイレント版）	土田商会	山口貞三	1941	1941年1月8日名古屋名宝会館公開
122	マンガ 裸ぢや飛べない（トーキー版）	ミツワ興行	光田三祿	1941	製作：ミツワ興行株式会社 作画：光田三祿 音楽：斉藤七郎 録音：岩谷サウンド 『チュウ児の羽衣』（1941年、山口貞三、「日本アニメーション映画史」226頁）の戦後の改題トーキー新版。光田三祿とあるが『チュウ児の羽衣』と比較して新作改編部分が見つからない。
123	子供と工作（実写併用）	十字屋映画部	渡辺義美（影絵・大藤信郎）	1941	
124	かぐや姫		荒井和五郎	1942	メインタイトル、クレジット欠。エンドタイトル「終」あり。
125	マー坊の南海奮戦記	佐藤映画製作所、佐藤今二良	千葉洋路	1942	公開年月日：1942年9月17日（東日少童文化劇）
126	スパイ撃滅	三幸商会	山本早苗	1942	公開年月日：1942年7月16日（横浜朝日劇場）
127	漫画 敵機来らば	三幸商会	山本早苗	1942	
128	桃太郎の海鷲	芸術映画社	瀬尾光世	1942	1941年12月8日、太平洋戦争開戦の発端となった日本海軍のハワイ真珠湾攻撃成功を少国民（小学校の生徒）たちに海軍省がPRするために制作させた国策映画。従来、日本の劇場アニメは3巻が最高の長さだったが、5巻（37分）という初めての長編（というより厳密には中篇だが）アニメが制作された。背景を担当した持永只仁は、戦後、日本の人形アニメ制作のパイオニアとなった。公開年月日：1943年3月25日（白系）
129	くもとちゅうりっぷ	松竹動画研究所	政岡憲三	1943	原作：横山美智子。太平洋戦争中にもかかわらず、戦時色も戦意高揚のメッセージも一切なく、詩情あふれる名作となった。公開年月日：1943年4月15日（白系）、4月22日（紅系）
130	闘球肉弾戦	松竹動画研究所	桑田良太郎	1943	脚本：高木一郎 演出：桑田良太郎 撮影：本庄吉雄 作曲、指揮：吾妻次郎 演奏：大東交響楽團 音響、効果：木村一 調音：大村三郎 方式：土橋式松竹フォーン 動画：熊川正雄 [助手] 土井研二、山室正男、木村一郎、鎌田惣助 背景：高木一郎 社団法人映画配給社配給 松竹には画・音とも良好な素材がある。CCD認可番号：A1219とあることから戦後のリリースプリント。

131	マレー沖海戦 	横浜シネマ商会	大藤信郎	1943	後援：海軍省。太平洋戦争中、日本海軍のマレー沖海戦勝利を影絵アニメ化したプロパガンダ作品。公開年月日：1943年12月1日（白系）
132	ニッポンパンザイ（缶表より）	朝日映画社	前田一、木村一郎、ほか	1943	海軍省がスポンサーで大東亜（太平洋）戦争の正当性をPRする戦意高揚映画。公開年月日：1943年5月27日（白系）
133	マー坊の落下傘部隊	佐藤線映画製作所	佐藤吟二郎	1943	終のタイトルのクレジットは佐藤線映画製作所（線画ではない）。1937年から佐藤線映画製作所。1938年は佐藤映画製作所。1934年頃は佐藤線映画製作所という名称がみられる。「日本アニメーション映画史」ではこの作品の紹介は佐藤映画製作所になっている。公開年月日：1943年8月1日（白系）
134	桜（春の幻想）	日本漫画映画社	政岡憲三	1946	原題『桜』。作品が完成したものの内容が地味だとオクラになった。16ミリ版が勝手に作られ『春の幻想』の題名で上映された。音楽はストコフスキーの「舞踏への勧誘」のレコードであった。画に4つのパーフォーレーションが映り込んでいるので35mm製作。1946年5月完成。
135	魔法のペン	京都映画社	熊川正雄	1946	
136	ヤシノミ	新世界映画	荒井和五郎	1947	影絵アニメ。題名は片仮名で表記されている。
137	よくばり狐（森の騒動）	新世界映画社	前田一	1947	作画：渡辺功、穴山久、石山昌治、古屋勉。1947年12月完成。『よくばり狐』と『森の騒動』は別作品で『よくばり狐』が続編か。
138	森の騒動	新世界映画社	前田一	1947	同上
139	雪の夜の夢 	千代紙映画社	大藤信郎	1947	影絵アニメ
140	狐とヒヨコ	近代映画社	森野佐登志	1947	監督の森野佐登志の本名は浅野恵（さとし）。作画：里見修
141	カチカチ山の消防隊	日本漫画映画社	小幡俊治	1947	
142	続々大漁（続く大漁） 	日本漫画映画社	村田安司	1947	1947年12月完成、翌1948年2月24日大映系封切。1933年の『お猿の大漁』続編『続く大漁』の改題版と思われる。木下華声の吹替も改題版で付けたものか。『アカ吉の知恵』などと同様にアニメは横浜シネマ商会の後輩(つながりは無い)増田謙二。
143	マッチ売りの少女	日本漫画映画社	荒井和五郎、須賀嘉行	1947	バレエの舞踏の振付を石井漢が担当。ライブ・アクションを影絵アニメの参考にした。1947年12月完成
144	すて猫トラちゃん	日本動画社、東宝教育映画部	政岡憲三	1947	セリフはオペレッタ形式。技術的に難しい画面の180度回転も行われた。1947年8月完成。公開年月日：1947年9月25日（日比谷映画劇場）
145	防犯はみんなの力で	日本動画株式会社	松崎與志人	1948	原作：三谷節 脚本、演出：松崎與志人 作画：中島喜美 撮影：藪下泰次 音楽：三木鶏郎 提供：三幸映画社 CCD認可番号：M.12281
146	バクダット姫	三幸映画社	芦田巖	1948	上京中の若き手塚治虫がアニメーター募集広告を見てアニメーターになりたくて、『バクダット姫』製作中のスタジオを訪れ、オーナーの芦田巖と会うが採用は断られる。芦田にすれば多忙の折、一人でも助っ人のアニメーターが欲しかったであろうが、素人の手塚治虫に一からアニメを教えるより、ベテランのアニメーターが欲しかったのだろう。

147	大聖釈尊 	三幸映画社	大藤信郎	1949/ 1952	
148	まさかりかついで	日本漫画映画社	古沢秀雄	1948	原作：上金好裕 1948年4月完成
149	ぼっぼやさん のんき駅長 (部分)	日本動画社	熊川正雄	1948	前半部分欠落
150	ワンきちのかいぶつたいじ (「ワン公と怪物船」の改題か?)	京都映画社	木村角山	1948	
151	蜂のお国	日本短篇映画社	進藤進	1948	動画：進藤描画研究所 製作：高橋喜代江 作画：進藤光子 撮影：進藤幸児 音楽、効果：木村一 巻頭と終に「日本マンガフィルム研究所」のタイトルが出るが、別作品か。
152	動物大野球戦	東宝教育映画、日本動画映画	藪下泰次、熊川正雄	1949	1949年12月完成
153	アカ吉の知恵	日本漫画映画社	村田安司	1949	原作：鈴谷銀二。1949年6月完成
154	スポーツ子狸 競馬篇	日本短篇映画社	古沢日出夫	1949	ナレーションは竹脇昌作。エンドタイトルの後にクレジット「声の人：池田忠夫、大塚博、鎌田彌恵」あり。1949年11月完成。53年にフジカラーでリメイク版が制作されている。
155	小人と青虫	東宝教育映画、日本動画社	古沢秀雄	1950	原作：肥塚あきら。1950年12月完成 タイトル部欠落
156	動物村のとり入れ	京都映画社		1950	
157	お天気学校	東宝教育映画、日本動画社	古沢日出夫	1952	1952年2月完成
158	兎と亀の決勝戦	日動映画株式会社	藪下泰次	1952	企画：教育映画配給社 製作：日動映画株式会社 製作：山本早苗 脚本、演出：藪下泰次 音楽：小沢直興志(日本ビクター) 作画：古沢日出夫 背景：大工原章 撮影：高城泰策、石川光明 演奏：映画音楽協会 1952年11月完成
159	森の音楽会	芦田漫画映画製作所、奥商会	芦田いわを	1953	「日本アニメーション映画史」とクレジット表記が違う。1957年にアメリカCBS-TVへ輸出されている。講和記念 懸賞募集 漫画シナリオ 一等当選 製作、提供：合資会社 奥商会 芦田漫画製作所作品 原作脚色：西尾善介 動画：福田里三郎 補動画：西島行雄 背景：右田利朗 色彩効果：日本色彩K.K. 音楽指揮：山本浩久 作曲：尾崎義雄 独唱：楠木トシエ 演奏」日本フィルハーモニー 演出、撮影：芦田いわを 1953年3月完成
160	かかし	芦田漫画映画製作所	芦田いわを	1953	配給：奥商会(ニッポングラフ) 提供：日本8ミリ映画株式会社
161	小人の電話	渡部プロダクション	藪下泰司	1953	渡部プロダクション作品 富士カラー ニュータイプ使用 映倫E-537 製作者：渡部清 協力：山本早苗 脚本：秋元憲 演出：藪下泰司 協力：湯原甫 撮影：完倉泰一 作画撮影：高城泰策、石川光明 録音：土橋武夫 東通工テープ録音方式 音楽：服部正作 詞：藤浦洸 演奏：映画音楽協会 唄：池真理子、平山美智子、末松和男 漫画作業：日動映画株式会社 原画：古沢日出夫、森康次、久和田太郎、市野正二 動画：本庄吉雄、長沼寿美子、進藤進、諸橋三郎、小沢重行、岩田西介 描画彩画：安齊儀之、進藤みつ子、菰岡静子、岡田幸子 背景：中島清、大工原章
162	ありとはと	日動映画	湯原甫	1953	1953年9月完成
163	子うさぎものがたり	日動映画	森康二	1954	1954年3月完成
164	かっぱ川太郎	三井芸術プロ	藪下泰司	1954	

165	花と蝶	千代紙映画社、奥商会	大藤信郎	1954	製作、提供：合資会社奥商会 千代紙映画社作品 録音：目黒スタヂオ 色彩：コニカラー 台詞：七曜会 作曲：紙恭輔 背景：宮崎ふみを（宮崎ふみを） 作画演出：大藤信郎 1954年10月完成。34年の『三月の蝶』（2色カラー）のリメイク版。
166	トラちゃんの冒険	日動映画	湯原甫	1955	1955年2月完成
167	団子兵衛捕物帖 開け一ごまの巻	千代田映画社	大藤信郎	1955	タイトルは「開け一ごま」伸ばしている。奥商会扱い。絵が片岡芳太郎の絵柄に似ているので手伝っているのでは？ 背景は熊川正雄。1955年6月完成。52年の『四十人の盗賊』改題。
168	うかれバイオリン（タイトル部分なし）	日動映画	藪下泰司	1955	この作品は東映教育映画部の外注作品だったが、完成度が評価され東映動画設立のきっかけとなった。1955年9月完成
169	原子力の謎をとく（ネガ）	芦田漫画映画製作所	芦田いわお	1956	実写と図解アニメで原子力の理論と平和利用を説明。1956年3月完成
170	瓜子姫とあまのじゃく	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁、田中喜次	1956	1956年1月完成
171	五匹の子猿たち	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁、田中喜次	1956	1956年6月完成
172	ちびくる・さんぼのとらたいじ	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁	1956	原作：ヘレン・バンナーマン 絵：フランク・ドピアス 光吉夏弥訳「ちびくる・さんぼ」（岩波こどもの本）。1956年11月完成
173	一寸法師	日動映画	藪下泰司	1956	1956年4月完成
174	ふしぎな太鼓	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁、田中喜次	1957	演出：持永只仁。田中喜次 撮影：岸次郎 製作：稲村喜一 人形製作：川本喜八郎 薬売り 小天狗 原作：石井桃子 絵：清水崑（岩波こどもの本「ふしぎなたいこ」より）。1957年8月20日完成
175	子熊ちゃんの花束	芦田漫画映画製作所	芦田いわお	1957	脚本、演出、撮影：芦田いわお 1957年3月完成
176	ふくすけ	おとぎプロ	横山隆一	1957	公開年月日：1957年10月29日（東宝系）
177	こねこのらくがき	東映教育映画部	藪下泰次	1957	原作：木下秋夫 1957年5月13日完成
178	貝の火	若木書房映画部	島崎久夫	1957	提供：十六ミリ映画株式会社 宮沢賢治作 貝の火 せいさく：北村二郎 さくが：片岡芳太郎 さつえい：板橋重人 おながく：西垣鉄雄 こえのしゅつえん：巖金四郎とそのグループ きゃくほん、えんしゅつ：島崎久夫 1957年9月完成
179	子熊のコロちゃん	日本テレビジョン	上金史郎	1958	1958年3月完成
180	こぶとり	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁、田中喜次	1958	人形制作は川本喜八郎。美術監督を水谷浩（1906～1971）が担当。水谷は溝口健二監督の美術監督として有名。1958年1月完成 人形アニメ
181	ぶんぶくちゃがま	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁、田中喜次	1958	人形制作は川本喜八郎 1958年5月完成
182	空を飛んだ米倉（とびくら）	近代テレビ映画社	鎌倉伴作（横山隆一）	1958	近代テレビ映画社が鎌倉にあるおとぎプロのオーナー横山隆一にアニメの外注制作を依頼。横山は鎌倉伴作のペンネームで演出を担当。
183	こうもり（リーダーより）	中井プロダクション	動画：東喜三郎	1958	
184	ペンギンぼうや ルルとキキ	電通映画社、人形映画製作所	持永只仁	1958	第5回教育映画祭動画部門特別賞。1958年9月完成。人形アニメ。この作品から川本喜八郎は離れる。人形制作は飯沢匡の仕事で川本などと一緒だった熊谷達子（みちこ=谷内六郎夫人）。
185	白蛇伝	東映動画	藪下泰司	1958	日本初の長編カラーアニメーション。公開年月日：1958年10月22日
186	アニメ古事記 天孫降臨の巻	ヴァーンメディア・学研	福山政敏	1958	アニメーション制作：国際アニメーション研究所
187	いなかねずみとまちのねずみ	学研映画局	渡辺和彦	1959	色紙細工
188	いねむりぶうちゃん	学研映画局	神保まつえ	1959	1959年10月完成
189	こねこのスタジオ	東映動画	森やすじ	1959	第6回教育映画祭特別賞。1959年4月9日完成

190	たぬきさん大当たり	東映動画	ジョージ・M・リード、熊川正雄	1959	東映動画設立の最大目的は自社制作アニメの海外輸出であった。日本映画研究に来ていたアメリカ青年を囑託に迎え、ベテラン・アニメーターの熊川正雄とコンビを組ませて制作。公開年月日：1967年3月19日
191	少年猿飛佐助	東映動画	数下泰司、大工原章	1959	
192	きたかぜとたいよう	学研映画局	渡辺和彦	1960	完成年月日：1960年4月 平面切紙アニメ
193	くつやとこびと	学研映画局	神保まつえ	1960	人形アニメ
194	もりのおんがくたい	学研映画局	神保まつえ	1960	
195	赤い井戸	16ミリ映画株式会社	森園忠	1960	十六ミリ映画株式会社 Westrex RECORDING SYSTEM 製作：星野洋治、狩谷篤、武田謙之助 原作：宮下正美 脚本、演出：森園忠 撮影：仲澤廉治 照明：伴野功 編集：伊勢長之助 人形制作：高山良策 美術：中村貞雄 現像：東洋現像所 音楽：団伊玖磨 アニメーター：大田サトル 解説：フランキー堺 1960年7月完成 以下、スタッフに取材。仲澤はカメラマン。兄も撮影で東映でも活躍した半次郎。アニメーターの太田は大きい田で太いではない。大田サトルの妹は東映動画の朱美で宮崎駿夫人。原作はオリジナル。映画年鑑などの文献には製作が刈谷になっている物が多いが、狩谷。十六ミリ映画の社長は狩谷太郎で製作の篤は息子。武田謙之助は特殊美術、森園忠は文化、PR映画が多い。
196	西遊記	東映動画	数下泰司、手塚治虫	1960	クレジット上の白川大作は他の2名とは小さい文字で書かれており、助手扱い。
197	人間動物園	久里実験漫画工房	久里洋二	1961	第2回「アニメーション三人の会」上映
198	池田屋騒動		柳原良平	1961	第2回「アニメーション三人の会」上映
199	ねずみのよめ入り	東映動画	白川大作、月岡貞夫	1961	東映動画では新人育成のため、短編アニメを自主制作させたが、この作品と池田宏演出の『もぐらのモト口』の2作だけで終わった。
200	安寿と厨子王丸	東映動画	数下泰司、芹川有吾	1961	公開年月日：1961年9月19日（東映系）劇場用長編アニメ。クレジット上は、演出の数下泰司と芹川有吾は同じ大きさで同格。
201	きんいろのしか ジャータカものがたり	学研映画局	渡辺和彦	1961	
202	竹取物語		大藤信郎	1961	日本最初のシネマスコープアニメとなる筈だった本作は残念ながら未完。大藤信郎の遺作。
203	羅生門（人形アニメ）	Parker Productions, Mikasa Productions (合作)	浅野龍磨	1963	1963年1月13日完成。製作スタッフタイトルは英語表記。製作：スティーブパーカー 監督：浅野龍磨 美術：浅野孟府 撮影：男沢浩 照明：平田光治 アニメーター：大町繁 美術：山下宏 人形：辻村寿三郎 音楽：いずみたく 助監督：長塚吉郎 撮影助手：池田公雄 照明助手：村井金一 美術助手：高田耕二 絵コンテ：坂間雅子 アニメーター助手：郷田三朗 英語ナレーション台本：エドストラムEd Strum 制作：小林イクオ アーネスト板倉（漢字が不明な名前はカタカナ）
204	ウィリー・マックビーンの魔法の機械（ウィリーマックビーンの冒険）	MOMプロダクション、電通映画社、ビデオ・クラフト社	持永只仁、浅野龍磨	1963	米映画製作者のアーサー・ランキン・Jrとジュールス・バスが日本の人形アニメ作家、持永只仁の『ちびくろ・さんぼのとらたいじ』が57年度第1回バンクーバー国際映画祭で児童部門の最高賞を受賞したのを見て、TVの人形アニメシリーズ制作を依頼。最初はTV用短編『ピノキオの冒険』を制作。ついで劇場用長編を依頼。この作品の成功でTV用長編作品を多数制作。米公開：1965年6月23日
205	赤鼻のトナカイ（ルドルフ物語）	MOMプロ、ビデオ・クラフト、電通映画社	持永只仁、長島喜三、アーサー・ランキンJr、ジュールス・バス	1964	アメリカ放映：1964年12月6日（NBCTV）日本放映：1967年12月24日（NHK）合作人形アニメ。田畑博司が参加。

206	牛若と弁慶	カテイトーキー	岩田西介、坂井晴男	年不詳	紙フィルム。家庭トーキーの番号：501。岩田西介は松竹蒲田のタイトル部出身。
207	特急忠臣蔵 下巻	カテイトーキー	宇高アリキ、中山ヒロシ	年不詳	紙フィルム。家庭トーキーの番号：504(B)
208	證城寺の狸囃子	伴野商店	大石郁雄	年不詳	玩具フィルム T.6 ビクターレコード 50669-Aに同期 ベビートーキー 作品No.1
209	大力太郎の無茶修行	キング、ライオン	片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム。片岡はライオンからのオリジナルが多い。他にキングやマークを消されたプリントもある。
210	動物珍藝團	伴野商店	大石郁雄	年不詳	発売元：大阪・伴野商店。ストーリーは「蛙の跳び、河馬の綱渡り、その他珍芸無類の芸当! すべてこの一巻に収めらる」との記事あり。
211	軟尖集 	伴野文三郎商店	大石郁雄	年不詳	マーベルグラフ ナンセンシュウ ナンセンシュウ ソノニ B.BANNO 伴野文三郎商店
212	のらくろ鬼大尉 要塞総攻撃	ライオン	片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム
213	独立守備隊 のらくろ鬼中尉	ライオン	片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム。日本映画情報システムによると片岡芳太郎作品。
214	のらくろ鬼中尉とミッキーマウス芝居騒動		片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム
215	のらくろ鬼中隊 非常呼集の巻	ライオン	片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム
216	新版 漫画 名探偵凸ちゃん		片岡芳太郎?	年不詳	玩具フィルム
217	モンキー 無敵艦隊		片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム
218	日の丸旗之助 稲妻組討伐の巻		片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム
219	日の丸旗之助 化物屋敷	ライオン、朝日、マルサン	片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム
220	冒険ダン吉 大東京巡り		片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム
221	冒険ダン吉 漂流の巻		片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム
222	冒険ダン吉とポパイ 宝島探険		片岡芳太郎	年不詳	玩具フィルム
223	ポン公の飛行潜水艦		片岡芳太郎	年不詳	16mmも玩具フィルムも出ている。
224	漫画 桂小五郎と凸坊		木村白山	年不詳	玩具フィルム
225	漫画 茶釜騒動		木村白山	年不詳	玩具フィルム 孔雀フィルム
226	聖林（ハリウッド）見物	ミツワ映画	中山浩、齊藤弥仁	年不詳	笠置シズ子が歌う「ハリウッド見物」の中で、笠置シズ子がハリウッドに行き、タイロン・パワーに会うところなど、一部、アニメーションで表現されている。アニメの作者は不明。
227	漫画 お猿の校長		村田安司	年不詳	玩具フィルム
228	カチカチ山（上巻）	カテイトーキー		年不詳	紙フィルム。上下巻があった（家庭トーキーの番号1001と1002）。最後に「うらへつづく」とあるのでこれは上巻。
229	ノラクラ伍長 突撃隊	キング		年不詳	玩具フィルム
230	のらくろ上等兵	キング		年不詳	玩具フィルム
231	たまたま ばこ	三幸映画社		年不詳	
232	森の泣蟲坊や	横田映画製作所		年不詳	オリジナルはトーキーだが音声なし。
233	サクラグラフ断片集 第一輯	横浜シネマ商会		年不詳	数タイトルの断片紹介（各題名あり）
234	のらくろ 部分	横浜シネマ商会		年不詳	
235	探偵ターチャン 殺人電波	マルサン		年不詳	玩具フィルム「MARUSAN FILM」の赤缶入り
236	一寸法師	ライオン		年不詳	玩具フィルム
237	漫画 浦島太郎	ライオン		年不詳	玩具フィルム
238	化学の大戦争	ライオン		年不詳	玩具フィルム
239	新版漫画 かちかち山	ライオン		年不詳	玩具フィルム
240	マンガ 金太郎	ライオン		年不詳	玩具フィルム
241	真田大助大暴れ No.B.159.	ライオン		年不詳	玩具フィルム
242	新版 舌切雀	ライオン		年不詳	玩具フィルム。台詞が漫画の吹き出しで表現

243	正チャンとリス君 新版海賊征服	ライオン		年不詳	玩具フィルム
244	漫画 正チャンの太平洋横断第二巻	ライオン		年不詳	玩具フィルム
245	底抜ドン助 仇討道中双六	ライオン		年不詳	玩具フィルム
246	ター坊の無敵戦車	ライオン		年不詳	玩具フィルム。本来はトーキー作品
247	大平洋大海戦	ライオン		年不詳	玩具フィルム
248	チビ丸の北支従軍	ライオン		年不詳	玩具フィルム。科学映像館 (kagakueizo.org) で配信。
249	チビ助捕物帳	ライオン		年不詳	玩具フィルム
250	漫画 忠臣蔵 討入 第二巻	ライオン		年不詳	玩具フィルム
251	チョンマゲぢいちゃん東京見物	ライオン		年不詳	玩具フィルム
252	日の丸旗之助 ギャング討伐	ライオン		年不詳	玩具フィルム。No.A50
253	漫画映画 ○助漫遊記	ライオン		年不詳	玩具フィルム
254	満州事変漫画 錦州城一番乗	ライオン		年不詳	玩具フィルム
255	腰抜け武士			年不詳	玩具フィルム
256	まんが 助太刀大歓迎			年不詳	玩具フィルム
257	マンガ 茶目とワン公			年不詳	玩具フィルム
258	鳥獣合戦			年不詳	玩具フィルム
259	凸ちゃん戦争漫画 西部戦線異状なし			年不詳	玩具フィルム
260	のらくろ元帥 大観艦式			年不詳	玩具フィルム
261	浦島太郎？			年不詳	後に北山清太郎作品ではなかった事が判明。染色映画館用フィルム
262	エックス光線			年不詳	X線の図、産道を通る胎児はアニメーション。臍の緒が付いた胎児は実写。子宮口を進みラッパ管に行き着く精子の動きはアニメーション。
263	火災予防 (実写併用) 			年不詳	防火の教育映画と思われるがアニメの製作者は不詳。このプリントを複製した国立映画アーカイブは『火災予防(火の用心)』として登録。
264	今昔珍合戦			年不詳	エンドクレジット/製作者：岩田西介、坂井晴男 (小さい表記)
265	舌切雀			年不詳	伴野商店。日本物映画在庫表のストーリーには「舌を切られた雀をたずねてゆく親切なおじいさん! 欲に引かれて遠道をたずね行くお婆さん!」と書かれている。「第一巻」と「第二巻」からなる。切り紙アニメでかなりプリミティブに見える。吹き出しと字幕があるが、字幕は後から付けられたものかも知れない。ただオリジナルの字幕と思われる「雀をどり」「つづらのおみやげ」「お帰り」などもある。「日本アニメーション映画史」196頁の『舌切り雀』（1928年、金井木一路・山本早苗）にも思える。
266	空のおぢさん太平洋一番乗り			年不詳	アドバルーンに「あっぱれ三太郎」「シッカリ三太郎」などとあり、「空のおぢさん 太平洋一番乗りを指して 飛び出しました」「千島名物 霧の襲来」「見事一番乗りの勇士 空のおぢさんは シヤトルの空に 現はれました」の字幕などから「日本アニメーション映画史」352頁にある『空のおぢさん太平洋一番乗り』（製作・十字屋、作者不詳、1巻）の可能性あり。
267	鷹の戦功 			年不詳	映画保存協会小型映画部編「戦前小型映画集」（2010年2月）の「伴野商店9.5ミリ映画目録」（36頁）に大缶映画（1巻約20m）、品番G-18に『鷹の戦功』（2巻）あり。外国物の可能性も考えられたが、吹き出し部分の日本語はめ込みは難しいと思われ、また日本の軍服や雷様もでてくるが、よく出来た動きで断定できない。
268	太郎の火星探検			年不詳	仔熊のアニメ

269	時計の話			年不詳	
270	非常ラッパ			年不詳	
271	のらくろ上等兵 馬賊討伐の巻			年不詳	片岡芳太郎の画ではない。
272	花咲爺			年不詳	
273	桃太郎			年不詳	伴野商店発行の日本物映画在庫表のストーリーには「桃より生まれた桃太郎の鬼ヶ島征伐の巻」と書かれている。
274	題名不明 (火災予防の日本アニメ)			年不詳	
275	題名不明 (空襲とは)			年不詳	不詳。タイトル手書きラベルより
276	題名不明 (線画アニメーション)			年不詳	久里洋二風
277	題名不明 (部分)			年不詳	虎が出るアニメ
278	題名不明 (断片)			年不詳	ミッキーマウスの模倣、ダルマ